

学校法人 国際学園 星槎大学

卒業生へのお祝いのことば

卒業生の皆様、御卒業誠におめでとうございます。

御家族の皆様や関係者の方々におかれましても、さぞかしお喜びのことと、心からお祝い申し上げます。

また、貴大学におかれましては、オリンピック・パラリンピックなどを通じたスポーツ振興や地域・社会活動など、地域に根ざした大学としてご貢献いただいておりますことに、改めて御礼申し上げます。

さて、卒業生の皆様は、かつて希望に胸を膨らませ、桜の咲く時期にこの学校に入学され、今日に至るまで、「共生」という理念に基づき、教育や福祉、環境といったそれぞれの専門科目の課程を修了されました。その感激はひとしおのことと存じます。

「共生」という言葉は、人と人、人と自然が互いに排除することなく、認め合う社会であり、その理念は、現代社会においては欠くことのできないものであります。特に今年は、東日本大震災から十年という節目の年であり、当時の被災状況や社会の混乱の様子を記憶

から掘り起こしてみますと、いかに人同士の繋がりが「絆」が大切であったのか、そして、排除することのできない自然災害に対し、どう向き合っていくのかを学んだ出来事でした。また、現在も未だに猛威を奮っている新型コロナウイルス感染症についても同様であり、この未曾有の危機に対し、世界が一丸となって立ち向かう姿は、国や人種、思想を越えた、正に共生する世界であると認識しているところです。

卒業後の皆様におかれましては、進路も様々なことと存じますが、大学で学ばれた広い知力や課題に対する探究能力を活かし、素晴らしい未来を切り拓いていくくださるものと大いに期待をしております。

結びになりますが、卒業生を指導されました先生方に心から敬意を表するとともに、星槎大学のますますの御発展と、卒業生の皆様の御健勝を心よりお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和三年三月吉日

小田原市長 守屋 輝彦

